

令和6年度 魅力ある田園地域づくり
～ビジョン&プロトタイプ創出事業～

Q&Aコーナー

2024/08/20更新

Q

個人でも応募は可能ですか？

「世界が憧れる田園地域」に向けて、地域を巻き込み活動していくことを目指していただける方であれば、個人でのご応募も可能です。申請時点で想定している実施体制があれば、応募様式にご記入ください。

Q

実証実験はどんな事業内容でも応募可能ですか？

募集要領P5の募集内容に合致するものであればご応募いただくことは可能です。選定基準に基づき審査をさせていただき、より事業の趣旨に沿った内容でご応募いただいた方を、支援対象とさせていただきます。

Q

対象となる範囲（エリア）を教えてください。

本事業においては、**田園地域に存在する地域資源を核として、その磨き上げにつながるビジョンづくり・実証実験を支援いたします。**そのため、まちなか（商店街等）以外の幅広い地域を対象地域と考えています。

申請範囲が商店街等を含む広範囲になったとしても、その事業内容が田園地域の地域資源を中心としたものであれば申請は可能です。

Q

2月に成果発表となっており、応募様式別紙3に目指す成果と目標値とありますが、2月までに見える・数値化できる目標設定が必要ですか？

目標設定については、実施される活動の最終的な目標をまず記載していただき、そこから逆算して今年度の2月末までにはどこまでの目標を達成したいと考えているか、というように記載していただければと思います。

Q

今回ビジョン作成支援コースで申請し、来年度以降に実証実験支援コースを改めて申請することは今後可能ですか？

この事業は単年度で実施するものとなり、来年度以降も必ず実施できるとお約束できるものではありませんが、令和7年度の予算が議決されれば、継続して実施していきたいと考えています。来年度も実施の際は、ご質問のように申請いただくことは可能です。

また、ビジョン作成後は、その実現に向けた取り組みをその他の県の支援制度を活用できないかをご案内することも可能です。

Q

実証実験支援コースの審査基準にある「必要なステークホルダーとの調整がされているか」について、これから調整する場合でも問題ないでしょうか？

すでに調整済の方だけではなく、これから調整中の方もその調整状況について記載ください。

Q

募集要領に「申請する事業について、同一年度内に国や他自治体からの委託や助成を受けていないこと」とありますが、地域おこし協力隊の方が実施体制に含まれる場合でも問題ないでしょうか？

申請する事業に対して、補助金や助成金がでているということでなければ問題ありません。

Q

メインタイトルにある“世界が憧れる田園地域”だが、「里山文化」に関する活動は対象となるのでしょうか？

この事業では、田園地域という言葉幅広く使っており、説明会資料内にも「世界が憧れる田園地域」について、という定義をしています。当事業では、「里山文化」も、魅力ある田園地域の核となる資源になり得ると考えています。

Q

ビジョン作成支援コースでの活動において、地域との合意形成が重要とした場合、どこまでのレベルを求められていますか？5カ月という短期間で地域全体の合意形成をとるのは難しいと思います。

今回の伴走支援期間の中で完全に地域の合意を得るのは難しい場合もあると考えています。そのため、今後どうやって合意形成に向かっていけばいいかという点も含めて伴走支援チームからアドバイスさせていただきます、次年度以降の活動につなげていただければと考えています。

Q 今回申請して支援対象に選定されなかった場合、選定された方々の活動内容などを見せていただくことは可能ですか？

伴走支援期間中、特設サイトにて支援対象の方々の活動内容報告を行ってまいります。また、事業スケジュールの最後に「事業報告会」を設けています。同じ思いをお持ちの皆さんに事業成果を共有し、取り組みを広げていただきたいということを意図しておりますので、是非こちらもご参加いただけますと幸いです。事業報告会の開催詳細については特設サイト等で追ってお知らせさせていただきます。

Q 「世界が憧れる」とあるが、インバウンド需要等海外のお金を地域にもたらす仕組みが最終的に必要となりますか？

必ずしもインバウンド層にリーチする仕組みづくりを必須条件としていません。

Q 提出書類の作成に自信がないのですが、提出前に一度事業内容等を見ていただくなどアドバイスをもらうような機会を設けてもらうことは可能でしょうか？

事務局へその旨ご連絡いただけましたら、提出書類の作成方法等についてご説明いたします。